

○その他ご意見

【通学に関する事】

- ・狭く歩道のない通学路がたくさんある。グリーンベルト、白線等の整備が必要であると考ええる。また、集団登校を行うメリットもあるが、通学路の状況を考えて多くの児童が並んで歩き、事故の危険性も高くなると考える。通学路の状況を踏まえ、登校方法も検討していく必要がある。

【スクールバスに関する事】

大村小	<ul style="list-style-type: none">・大村地区は、中央小学校から直線距離2 km内ではあるが、通学路を通ると片道3 km程あり、少人数での登下校の安全性が不安（特に下校）。・一番望ましいのは、以前から会議でお願いしている通り、バス通学を希望する（地域の希望でもあります）。
山田小	<ul style="list-style-type: none">・山田小学校の校区内で、徒歩の児童とスクールバスの児童が出てくる。直線2 kmで切ると、ぎりぎり円の内側に入る家と外側の家でほとんど差がないのに不公平感がある。・安全面についても、車の通りが多い国道10号線を横断し、大雨の時に浸水した場所（ダイナム前の急坂）も通るため心配である。山田小の児童は全員スクールバス、といった対応はできないか。・スクールバスが出なかった場合、相当数の保護者が車で送迎すると考えられる。他の地域もそうだと考えられるが、中央小の敷地で対応できるのか。・スクールバスの停留所は、児童の自宅付近にすることを想定はできているのか。停留所の数が少なかったり、山田小1カ所のための停留所になったりすると、そこまで連れてくるのに保護者が送迎しなければならないような状況は避けていただきたい。・下校時刻変更の場合の路線バス使用の懸念について<ul style="list-style-type: none">①スクールバス臨時便の要請をする場合、路線バスの時刻の次の定時路線の便まで1時間以上空く場合しか出してもらえない状況だと、すべての方面の児童に対応できないのではないか。②徒歩の児童は帰れるが、バスの児童が長い時間待つような状況が起こることが考えられる。③バスを学校の下校時刻に合わせて出してほしい。
三毛門小	<p>三毛門地区全般にわたって距離が遠いので、スクールバス等の利用を検討して欲しい。特に県道および東芝前の道は交通量も多く、また田んぼの中を通るため防犯面でも危険である。</p>